

MUP（ムピロシンリチウム塩）選択添加剤

TOS-MUP培地調製用添加剤 (ISO 29981/IDF 220: 2010)

原理

1バイアルのMUP選択添加剤には25 mgのムピロシンリチウム塩が凍結乾燥剤として含まれています。この量は500 mLのTOS-MUP培地の調製に十分な量です。

ムピロシンリチウム塩は乳製品由来の一般的な乳酸菌 (*lactobacilli*、*lactococci*、*streptococci*、*leuconostoc*など) の発育を選択的に阻害する一方、ビフィズス菌の発育は阻害しません。

組成（/バイアル）

ムピロシンリチウム塩25 mg

最終濃度（/L）

ムピロシンリチウム塩50 mg (ISO 29981/IDF 220: 2010に従う)

培地の作製

凍結乾燥剤が入っているバイアルに25 mLの滅菌脱イオン水を添加し、振り混ぜながら注意深く溶解します。この溶解した添加剤を、48 ± 1°Cに冷却しておいた基礎培地に添加します。基礎培地95 mLに添加剤溶液5 mLを添加します。又は基礎培地190 mLに添加剤溶液10 mLを添加します。添加剤溶液と基礎培地を、気泡が生じないように慎重に混ぜ合わせます。

保存

凍結乾燥剤は、提供バイアル中で2~8°Cで保存した場合、規定の使用期限まで安定しています。

溶解した添加剤は直ちに基礎培地に添加してください。

溶解した添加剤は、冷蔵（2~8°C）で2週間、-20°Cで3カ月間安定しています。

文献

Rada, V., Koc, J. The use of mupirocin for selective enumeration of bifidobacteria in fermented milk products. *Milchwissenschaft*. 55: 65-67 (2000)

Zitz, U., Kneifel, W., Weiss, H., Wilrich, P.-Th. – Selective Enumeration of Bifidobacteria in Dairy Products: Development of a Standard Method. *Bulletin Int. Dairy Fed.* 411: 3-20 (2007)

ISO 29981 / IDF 220. Milk products – Enumeration of presumptive bifidobacteria – Colony count technique at 37°C (2010)

注文に関する情報

製品	カタログ番号	包装
MUP（ムピロシンリチウム塩）選択添加剤	1.00045.0010	10バイアル×1
嫌気ジャー	1.16387.0001	1基
アネロカルト®A	1.13829.0001	10袋×1
アネロテスト®	1.15112.0001	50ピース×1